

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために、協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流しあいながら、地域コミュニティづくりを推進する。
- (2) 教育活動を学校評価に基点を置いたものとする。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させるとともに、その評価等を参考に改善に努め、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進する。
- (3) 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々の活動を継続・発展させ、「地域全体で子どもを育てよう」とする気運を高め、「地域とともにつくる学校」の推進を図る。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

① 伝統行事の「山のコンサート」開催

本校の伝統行事「山のコンサート」は、1998年に本校近くの垂坂公園羽津山緑地が整備されたことを機に、本校の伝統である合唱を、地域の方々に聴いていただくという目的で、野外でのコンサートとして実施したものである。以来、当コンサートは地域の方々にも愛され、今回で24回目となった。



「山のコンサート」に中学生として参加し、運営に携わった経験のある生徒が途切れず、地域の伝統行事をつなぐことができた。今後も、内容を精査しながら、伝統が途切れることなく続けていきたい。

また、今年度は、悪天候のため、延期しての開催となったため、第4回コミュニティスクール運営協議会としては、中止することになったが、延期日当日は、多くのコミュニティスクール運営協議会委員にも参加していただき、コミュニティスクール運営協議会委員とPTAの保護者が、垂坂公園羽津山緑地への移動の際、安全確保と共に子ども達にあたたかい言葉かけを行っていただいた。

また、今年度は、多くの地域の方にもご観覧いただき、4年ぶりに保育園・幼稚園・小学校・中学校の4つ校種がそれぞれ歌を披露することができ、地域、保育園、幼稚園、小学校、そして中学校が一つになる大切な行事であることを再認識できた。多くの地域の方からも再開したことへの喜びの声をいただいている。

② 校則改正に向けた意見交流会

今年度初めての取り組みとして、羽津中学校の校則改正に向け、コミュニティスクール運営協議会との意見交換会を実施した。生徒会は、校則改正に向け、4月より、役員での話し合いを何度も持ち、生徒会役員が交代した中でも新旧役員がともに協力し合いながら原案を作成した。また、教員との意見交換会も持ち、さらに議論を重ねた。羽津



中学校の校則は、地域の学校として、地域の方の意見を聞きたいという思いで、今回の運営協議会との意見交換会となった。意見交換会では、運営協議会委員の意見は、さまざまな角度から出され、生徒会役員にとっても学校という枠組みにとらわれない地域の大人としての意見を聞くことができ、とても良い機会となった。今回は、生徒会が改正を考えている校則の一部についての意見交換会であったため、来年度以降も継続して運営協議会委員との意見交換会を実施していきたい。

③ 地域主催「いじめ講演会」

羽津地区まちづくり協議会の人権教育部会のご協力により、教育コンサルタントで HAGUMILABO 代表の品田奈美さんをお招きし、「いじめがおわる方程式」と題し、講演会を実施した。宝物である「命」を大切に



するというお話から、友達や家族との関係や、日ごろの家庭での生活について意識すべきことなど講演いただいた。生徒への様々な投げかけや、ワークシートを用いた活動などがあり、

生徒は主体的に考えながら品田さんの講演を聞くことができた。一人ひとりが自分や他者の長所と短所を知り、様々な見え方をするとということを知るのが大切であるということについてお話しされたとき、ハッとした表情をし、気づきを得た様子の生徒もあり、非常に貴重な体験となった。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

自治会・まちづくり関係者、地域関係諸団体役員、PTA 役員等の保護者代表を加えた8名体制でコミュニティスクール運営協議会を実施した。今年は、山のコンサートが雨天延期になったため、運営協議会を1回中止とした。そのため、年間5回の予定のところ、4回の会議を開催し、保護者や地域住民の学校教育活動への参画のあり方を協議した。

年度当初には「学校づくりビジョン」についての説明を行い、教育目標・めざす子どもの姿・めざす学校の姿について協議を行い、理解を求めるとともに、学校教育に対する地域の協力を依頼し、学校づくりの基本方針や計画等について共有を図ることができた。また、本年度は、校則改正に向けて、生徒、地域とともに考える機会を持つことができ、地域の中の学校という意識を生徒も再確認できる機会となり、地域の一員としての自覚を高める機会となった。

- ※ 学校・保護者・地域住民の連携・協力の深まり
- ※ 保護者の学校満足度、地域住民の学校への信頼度の変容
- ※ 子どもの変容
- ※ 運営協議会委員の学校運営への参画の意識
- ※ 教師の意識の変容
- ※ 写真（HPや学校教育白書等で公開可能なもの）をまじえてご報告願います。

3 今後に向けて

コミュニティスクール3年目となり、さまざまな行事がコロナ禍前に近い状態で開催をすることができた。とくに、本校の伝統行事である「山のコンサート」については、多くの地域の方に来場いただき、羽津地区全体が一体となった行事を行うことができた。また、本年度は、校則改正について、地域とともに考える機会を持ち、地域の中の学校であるということ、生徒も教師も再認識できたことは、今後、地域と連携を進めていく中でも大きな意義がある。今後も、地域と丁寧な関わりを心掛け、地域との関係を再構築していきたい。

令和5年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立羽津中学校

委員長 須藤 啓一

校長 北村 浩久

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回 コミュニティスクール 運営協議会	授業参観、学校づくりビジョンの承認
6		
7	第2回 コミュニティスクール 運営協議会	授業参観と懇談、コロナ禍後の子どもたちの学校生活について、校則見直しに向けてCS委員との意見交流会の取り組みについて
8		
9	第3回 コミュニティスクール 運営協議会	体育祭参観
10		
11	第4回 コミュニティスクール 運営協議会（雨天延期のため 中止）	山のコンサート観覧と懇談会 （雨天延期のため、中止）
12		
1	第4回 コミュニティスクール 運営協議会	授業参観と学校関係者評価 校則改正に向けた生徒会役員と CS委員との意見交流会
2		
3		